

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
医療的ケアⅣ Medical CareⅣ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉士養成課程の2年生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
医療的ケアⅠ～Ⅲ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
和田晴美	福祉棟2階	月・火・水・木の9時から16時(授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
医療的ケアⅠ～Ⅲで学んだ知識と実施手順をもとに、養成課程カリキュラムに規定された回数を演習する。医療的ケアが必要な利用者に、安全で確実なケアが実施できるよう小グループで繰り返し演習をおこない、技術の確認をする。				
授業の目標				
①喀痰吸引(口腔・鼻腔・気管カニューレ内)を手順通りに実施できるようにする。 ②吸引を受けている利用者の状態に注意し、異常を早期発見できるようにする。 ③経管栄養(胃ろう・経鼻経管)を手順通りに実施できるようにする。 ④経管栄養を受けている利用者の状態に注意し、異常を早期発見できるようにする。 ⑤医療的ケア実施後の記録と報告を適切に実施できるようにする。 ⑥緊急時の観察と救急蘇生法を実施できるようにする。				
授業の方法				
シュミレータを用いた少人数によるグループ演習であり、演習評価表にもとづき進めていく形式である。グループ編成・具体的な進め方等については、別途説明する。				
学習の成果(学習成果)				
①喀痰吸引および経管栄養を手順にそって実施することができる。 ②緊急時への対応を適切に実施することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(シラバスにそって)、視聴覚教材による手技・手順等の確認			
第2回目	演習1 口腔内吸引①②			
第3回目	演習2 口腔内吸引③④			
第4回目	演習3 口腔内吸引⑤(技術評価) 鼻腔内吸引①			
第5回目	演習4 鼻腔内吸引②③			
第6回目	演習5 鼻腔内吸引④⑤(技術評価)			

第7回目	演習6 気管カニューレ内吸引①
第8回目	演習7 気管カニューレ内吸引②③
第9回目	演習8 気管カニューレ内吸引④⑤ (技術評価)
第10回目	演習9 経鼻経管栄養①②
第11回目	演習10 経鼻経管栄養③④
第12回目	演習11 経鼻経管栄養⑤(技術評価) 胃ろう経管栄養①
第13回目	演習12 胃ろう経管栄養②③
第14回目	演習13 胃ろう経管栄養④⑤(技術評価)
第15回目	救急蘇生法
事前・事後学習	空いている時間を活用して、技術の習得を積極的に行うこと。わからない時には担当教員に質問すること。

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	既習学習を活かし、積極的に参加している。自主的にメモをしている。テキストや資料、技術評価表を活用し、イメージトレーニングにより技術習得に向けて努力している。
レポート	30%	各演習（5種類）の技術評価終了後に自己評価した「技術評価表」を提出。 S：できる・できないを明確にし、できるための対策を立てている。
調査報告書		
小テスト		
試験	50%	技術修得の確認評価は「技術評価表」にもとづき、各演習の5回目におこなう。 S：手順通りに実施でき、1回で合格している。
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

新・介護福祉士養成講座15 第3版 「医療的ケア」 中央法規出版 (医療的ケアⅠ～Ⅲと同じ)
--

履修上の留意点・ルール

医療的ケアⅠ～Ⅲを履修し単位を修得していること。演習回数は決められているため、欠席することのないよう体調管理に努めること。演習時は身だしなみを整えること。
